

第215回 全経簿記検定試験 上級 — 原価計算 — 模範解答

模範解答・予想配点・解説等は、学校法人高橋学園が独自の見解によって作成しており、検定試験実施機関における本試験の解答並びに出題の意図を保証するものではありません。なお、予告なしにその内容を変更する場合がございます。ご理解いただいたうえで、ご利用ください。

問題1〔予想配点：丸数字は点数を示す、合計64点〕

問1 〔 ④ 67,500 〕円

問2 〔 ④ 60 〕単位

問3

	第1工程	第2工程
月末仕掛品原価	④ 11,440,000 円	④ 17,730,000 円
当月完成品原価	③ 40,120,000 円	③ 48,600,000 円

問4 不利差異の場合には、数値の前に△をつけること

	価格差異	数量差異
X材料費	③ △ 784,000 円	③ 200,000 円
Y材料費	③ 175,800 円	③ △ 192,000 円
Z部品費	③ △ 16,420 円	③ △ 6,300 円

問5 不利差異の場合には、数値の前に△をつけること

(単位：円)

	変動費加工差異		固定加工費差異	
	予算差異	能率差異	予算差異	操業度差異
第1工程加工費	② △ 12,000	② △ 96,000	② 238,000	② △ 180,000
第2工程加工費	② 83,000	② 64,000	② 323,000	② 0

問6

原価差異は、材料受入価格差異を除き、原則として当年度の売上原価に賦課する。予定価格等が不適当なため、比較的多額に生じた場合は、売上原価と期末における棚卸資産に追加配賦する。
 なお、材料受入価格差異については、材料の払出高と期末在 high に配賦した上で、他の原価差異と同様に処理する。また、異常な状態に基づく認められるものは、非原価項目として処理する。

③

問題2 金額の単位は円である【予想配点：丸数字は点数を示す、合計36点】

問1

	借方科目	金額	貸方科目	金額	
①	材 料	8,200,000	本 社	8,200,000	④
②	賃 金 ・ 給 料	5,100,000	本 社	5,100,000	④
③	本 社	31,200,000	本 社 売 上	31,200,000	④
④	月 次 損 益	21,800,000	本 社 売 上 原 価	21,800,000	④

問2

	借方科目	金額	貸方科目	金額	
⑤	月 次 損 益	3,720,000	本 社	3,720,000	④

問3 [24,520,000] 円 (借方) 貸方) カッコ内のいずれかに○をつけること ④

問4

工場を独立した単位として評価し、分権化を促進するため。また、本社での集中経理を行うよりも迅速に経理処理することができる。 ⑥

問5

利益責任を持たせることによって、積極的に利益を高めたいという意識を持たせるため。また、実際原価で原価を計算している場合は、工場の非能率を反映しないようにするため。 ⑥